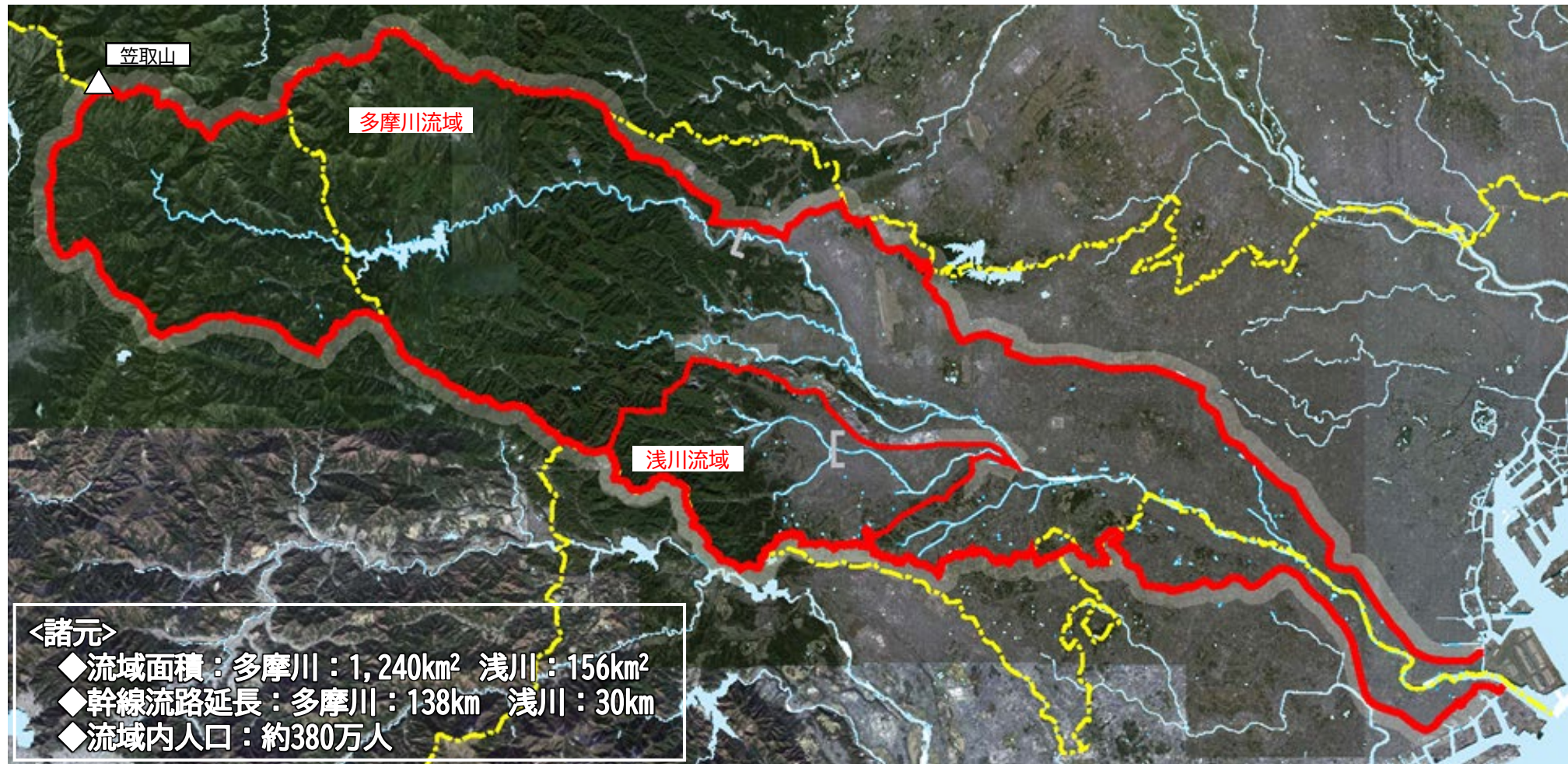


多 摩 川

国土交通省 関東地方整備局
京浜河川事務所

多摩川の概要

- ・多摩川は、笠取山（標高1,953m）に源を発し東京都の西部から南部を流下し東京湾に注ぐ一級河川で、首都圏における社会、経済、文化等の基盤をなすとともに、都市地域における貴重なレクリエーション・自然空間を有しています。
- ・一級河川の中では、勾配が比較的急な河川で、中流部の河床勾配は約1/200～1/800であり、洪水によるみお筋の変化、河岸洗掘が著しい河道特性を有しています。



過去の主な災害

平成13年9月 台風15号

- ・台風15号の降雨により四谷本宿堰が被災。
- ・多摩川中流部では、13箇所の侵食被害が発生。



昭和57年9月 台風18号

- ・台風18号の降雨により川崎市で60戸の浸水が発生。
- ・浅川では、11箇所で侵食被害が発生。



昭和3年9月 台風18号

- ・浅川1.2k左岸付近の堤防等で侵食被害が発生。



昭和49年9月 台風16号

- ・台風16号の降雨によりニヶ領宿河原堰左岸の堤防が決壊。
- ・狛江市の民家19棟が流出した他、家屋の浸水被害が発生。



多摩川ニヶ領宿河原堰付近堤防決壊状況



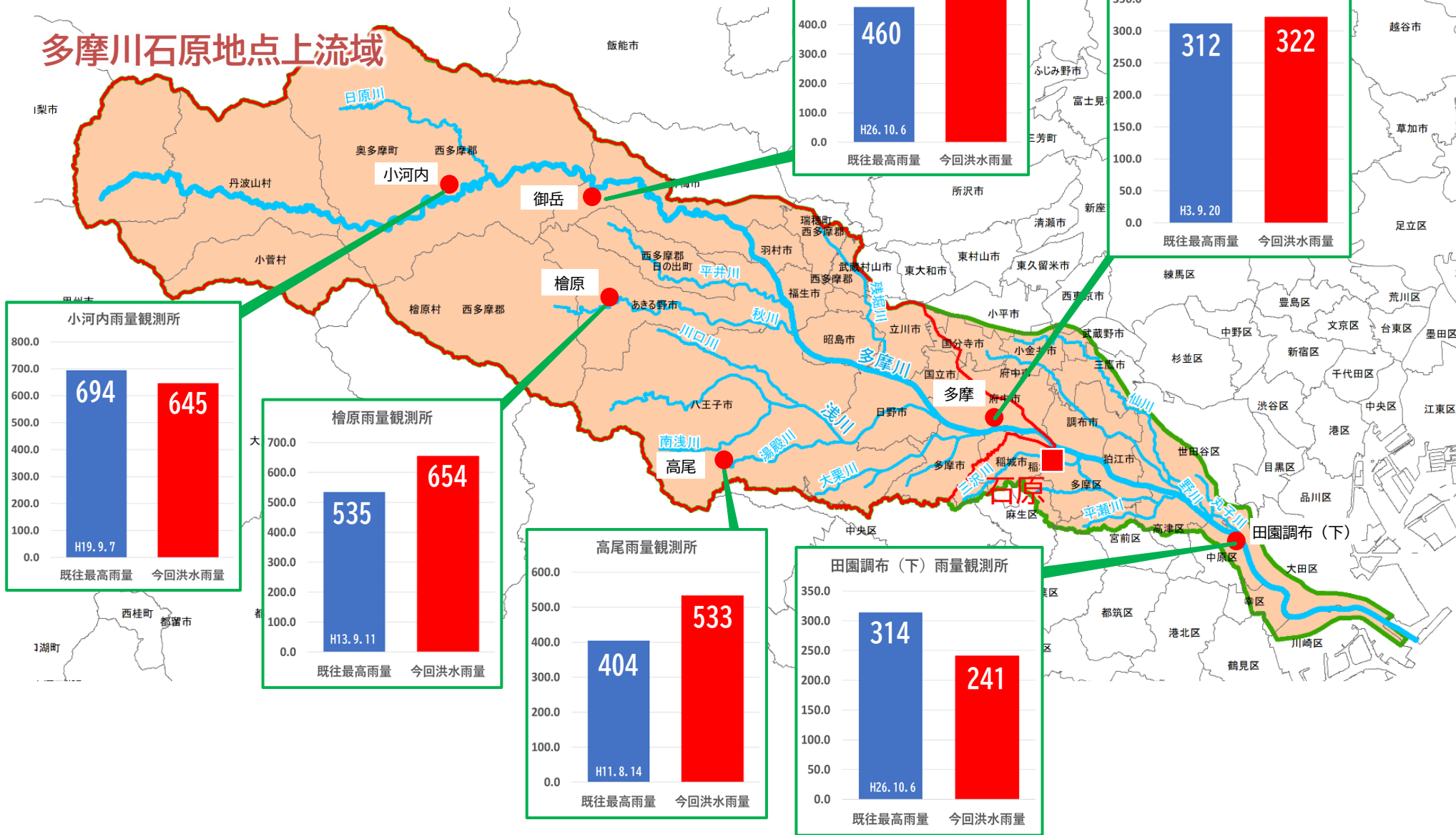
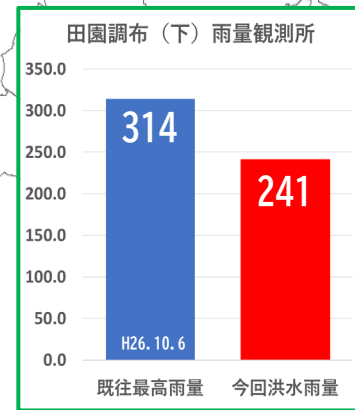
平成19年9月 台風9号



発生年月日	主な被災市町村
明治40年8月 台風	川崎市、大田区他
明治43年8月 台風	川崎市、大田区他
昭和22年9月 (カスリーン台風)	調布市他
昭和49年9月1日 (台風16号)	狛江市
昭和57年9月12日 (台風18号)	川崎市
平成19年9月6日 (台風9号)	福生市他

4

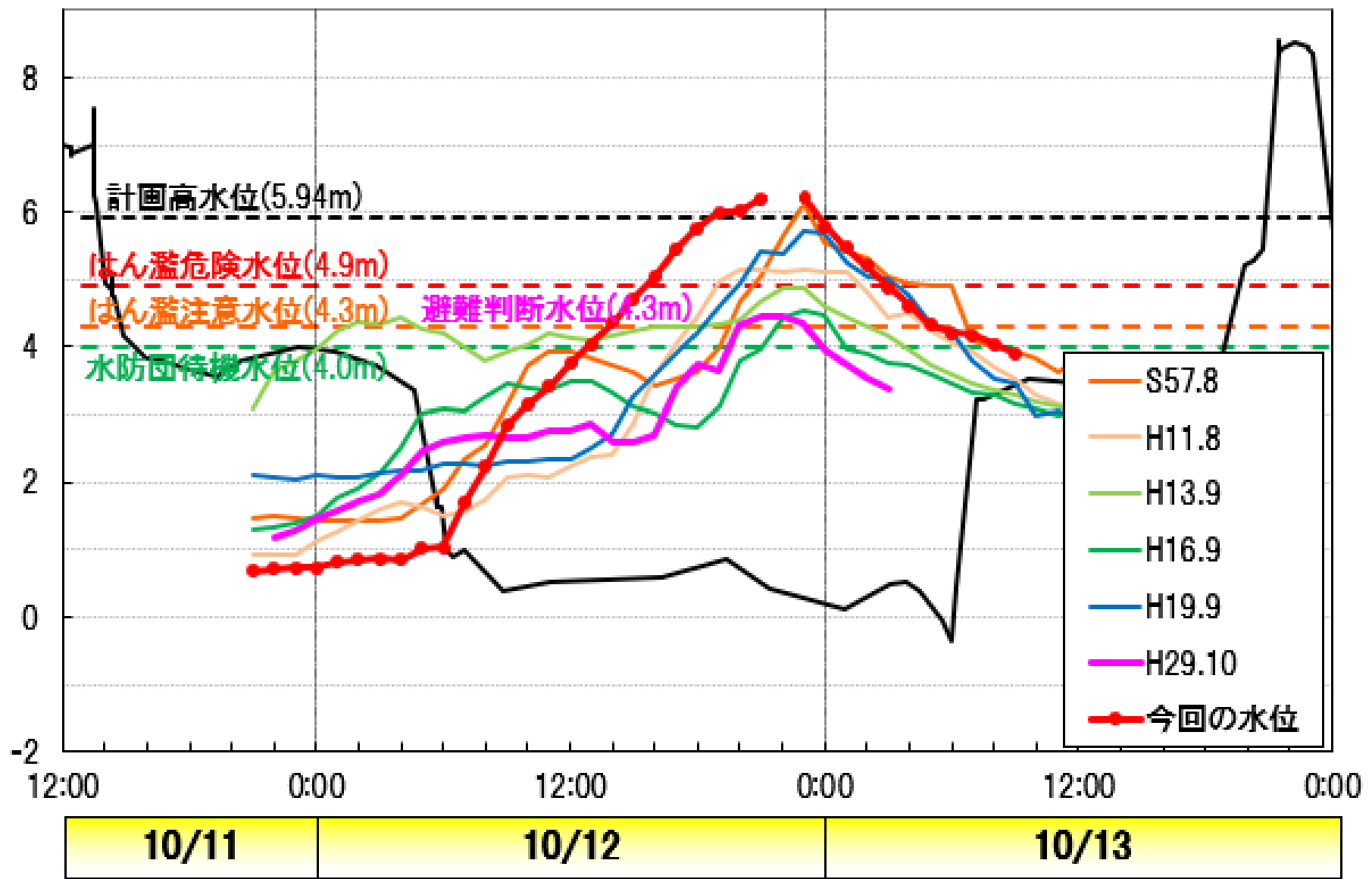
多摩川石原地点上流域



令和元年東日本台風（水位）

水位(m)

石原水位観測所(27.6k 調布市多摩川3丁目)



令和元年東日本台風（浸水被害状況）

- 多摩川では、令和元年10月台風第19号により河川水位が上昇し、世田谷区玉川で溢水による浸水被害が発生した。
- 溢水により面積約 0.7 ha、家屋約 40戸が浸水となったほか、各地で内水等による浸水被害が発生した。

世田谷区玉川地区



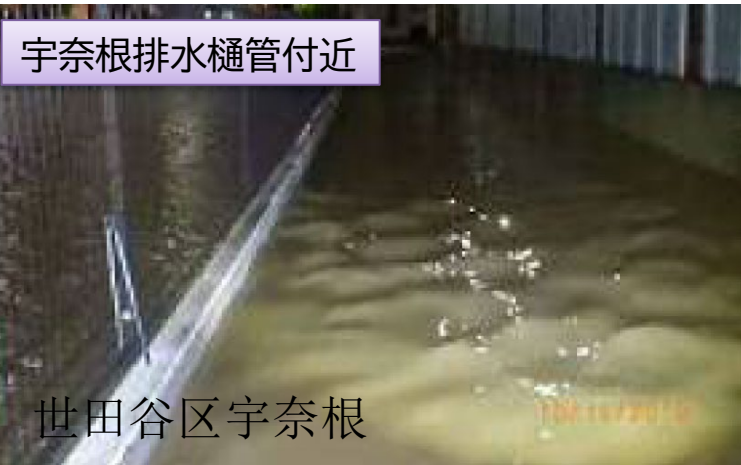
内水（被害）とは？

通常、堤内地の雨水は樋門や樋管を通じて川から排水されていますが、川が増水して水位が上昇するため堤内地に降った雨が自然に川へ排水できなくなり、堤内地の水路があふれ出したり、マンホールの蓋から下水が噴き出したりする現象です。

諏訪排水樋管付近



宇奈根排水樋管付近



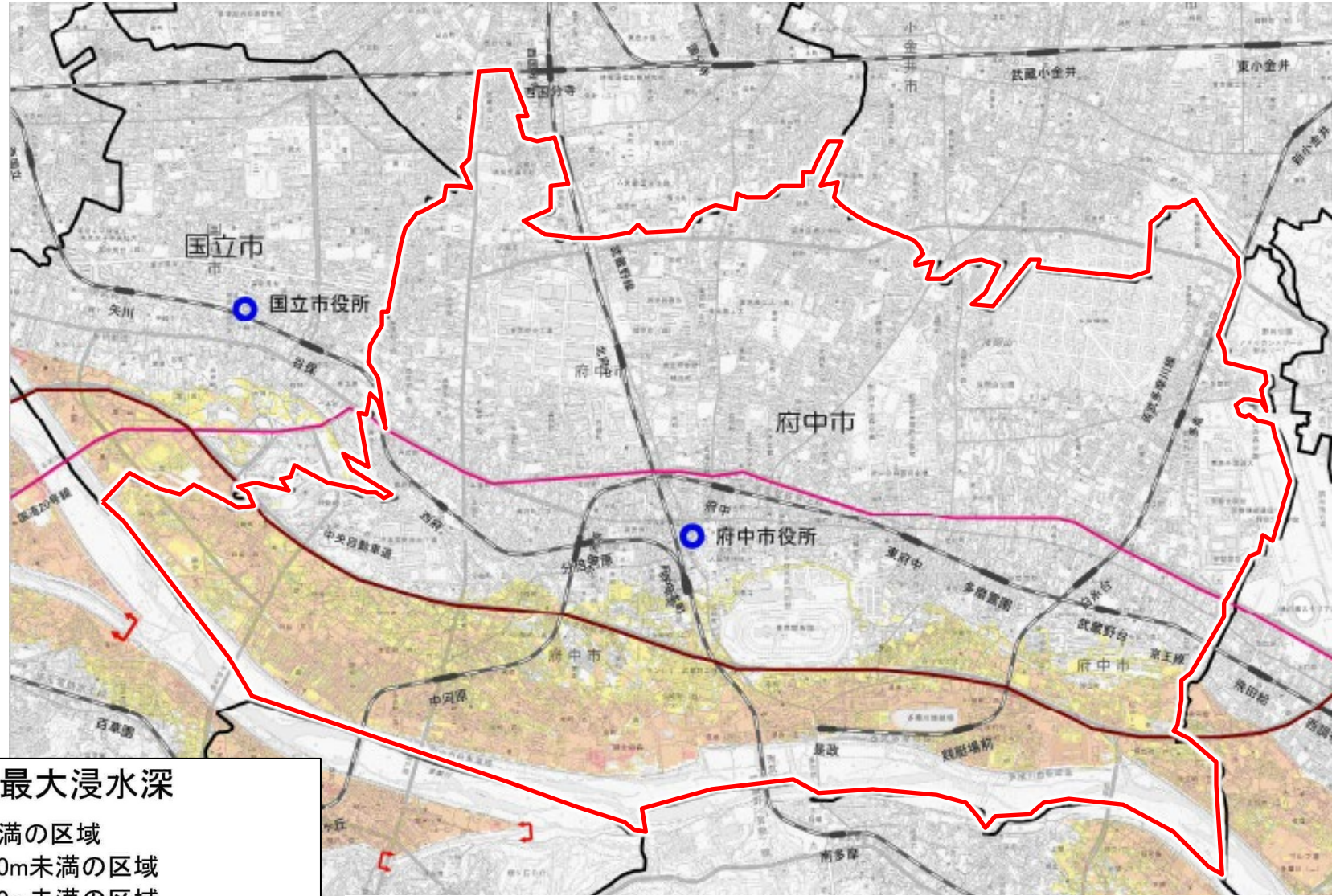
世田谷区宇奈根

山王排水樋管付近



神奈川県川崎市中原区上丸子山王町

浸水想定区域（計画規模降雨）



最大浸水深

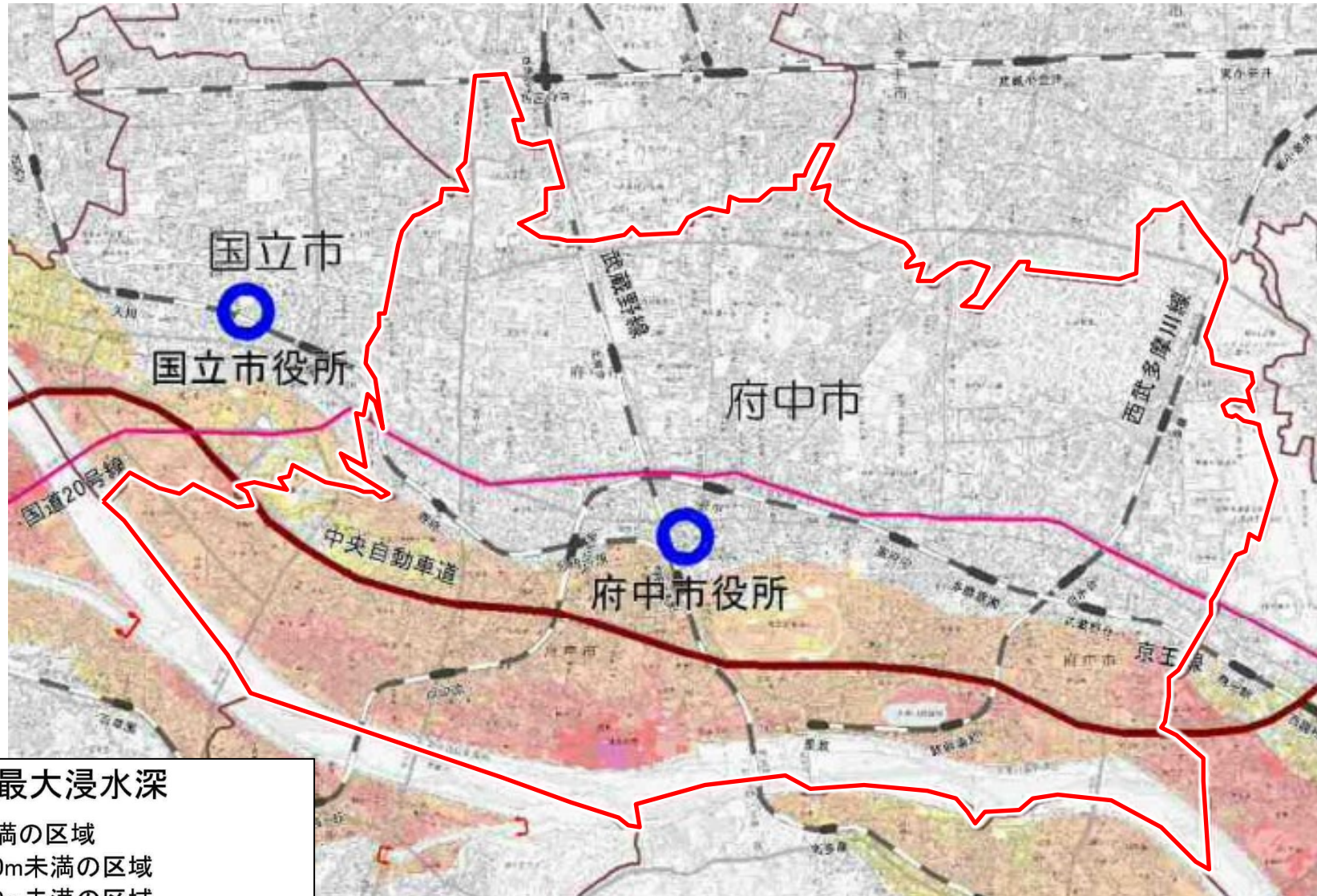
- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域

〔 〕 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

水防法の規定により定められた計画降雨※による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面を抜粋したものです。

※多摩川流域48時間総雨量457mm

浸水想定区域（想定最大規模降雨）



最大浸水深

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域

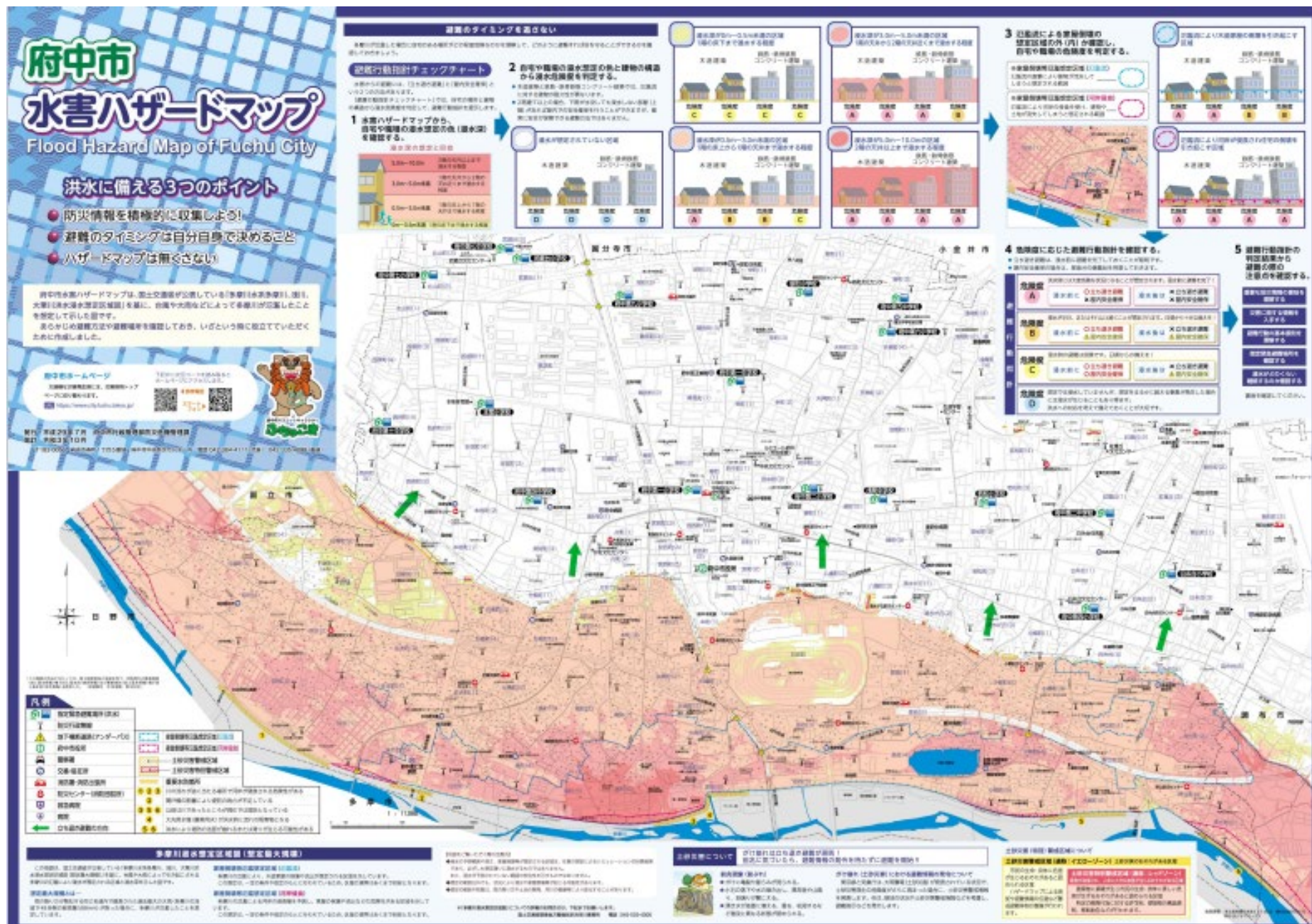
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

水防法の規定により定められた想定最大規模降雨※による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面を抜粋したものです。

※多摩川流域48時間総雨量588mm

9

9



多摩川緊急治水対策プロジェクト

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

10

○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和2年度から護岸等の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧、簡易型河川監視カメラの設置等を進めていきます。

位置図



■河川における対策

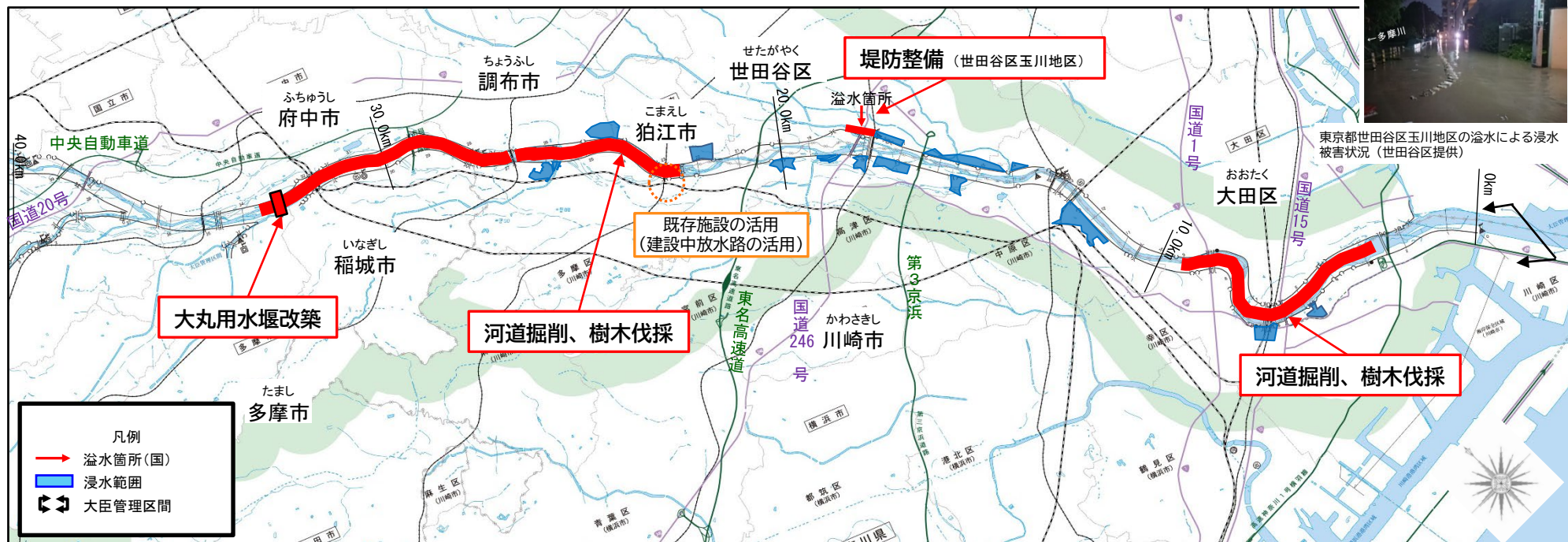
全体事業費 約191億円
災害復旧 約28億円
改良復旧 約163億円
事業期間 令和元年度～令和6年度
目 標 令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容 河道掘削、樹木伐採、堰改築、堤防整備 等
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

■流域における対策

(下水道事業等の整備促進)
・流出抑制施設の整備等
・既存施設(五反田川放水路(建設中))の活用による雨水貯留
・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化等
・移動式排水設備(排水ポンプ車等)の整備
・土のう等の備蓄資材の配備 等

■ソフト施策

・自治体との光ケーブル接続
・簡易型河川監視カメラの設置
・多機関連携型タイムラインの策定、運用
・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施 等



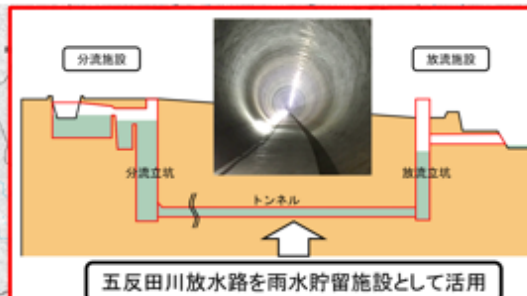
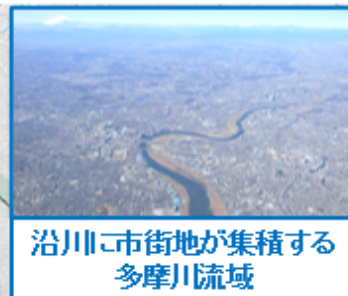
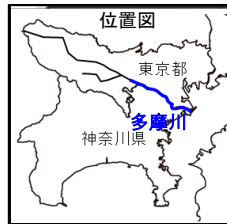
※計数及び対策については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある

多摩川水系流域治水プロジェクト【位置図】

11

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、多摩川水系においても、我が国の人口や資産が極めて高度に集積する流域の特徴を踏まえ、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大洪水と同規模の洪水に対して堤防からの溢水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・堰改築、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、高規格堤防、調節池整備、分水路整備、護岸整備 等
 - ・合流部対策の検討・実施
 - ・下水道管等のゲート電動化・遠隔操作化等
 - ・下水道施設の耐水化
 - ・下水道施設（雨水幹線・貯留施設等の整備）による浸水対策
 - ・利水ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
 - ・市街化調整区域の適正な土地利用
 - ・治水機能の向上のための自然地の保全と農地の保全
 - ・放水路整備、建設中施設の活用による雨水貯留（本運用まで）
 - ・雨水貯留浸透施設整備（校庭貯留、浸透ます・浸水人孔等の設置、透水性舗装、その他）
 - ・上流域等における森林整備・治山対策
 - ・いのちとくらしを守る土砂災害対策
- 等

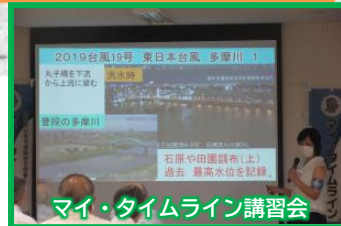
■被害対象を減少させるための対策

- ・止水板設置工事助成交付要綱
 - ・立地適正化計画の作成・検討
 - ・土のう等の備蓄資材の配備等
- 等

●グリーンインフラの取り組み



土のうステーション（大田区）



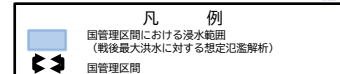
マイ・タイムライン講習会



自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・自治体との光ケーブル等接続
- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置
- ・浸水想定区域の指定
- ・タイムラインの高度運用の検討
- ・マイ・タイムラインの取組や取組の推進 等
- ・ハザードマップ作成・周知
- ・まるごとまちごとハザードマップの検討
- ・小学生を対象とした水防教育の実施
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進等
- ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会
- ・移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備・運用 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※上図において、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には危機管理対策等は含まれていない。
※河川管理上必要な河道掘削や樹木伐採を実施する場合がある。

大丸用水堰の改築

多摩川緊急治水対策プロジェクトに位置づけられた大丸用水堰の改築は、河道断面を確保する対策として行います。これにより、令和元年東日本台風と同等規模の洪水が起こった場合でも洪水を安全に流下させることが可能となります。

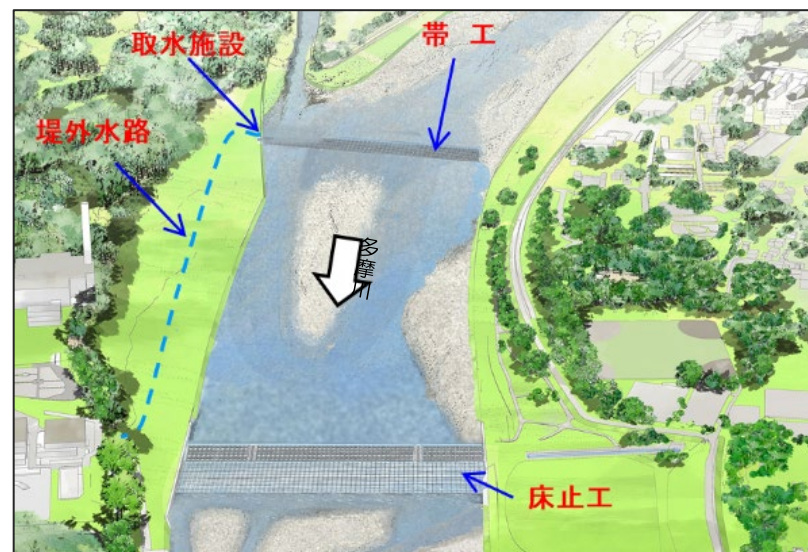


【改築の主な内容】

大丸用水堰の改築は、現在の堰を撤去した後、床止め工の設置と河道断面の切り下げを行います。また、改築した後でも取水できるよう、取水施設と堤外水路を設置します。



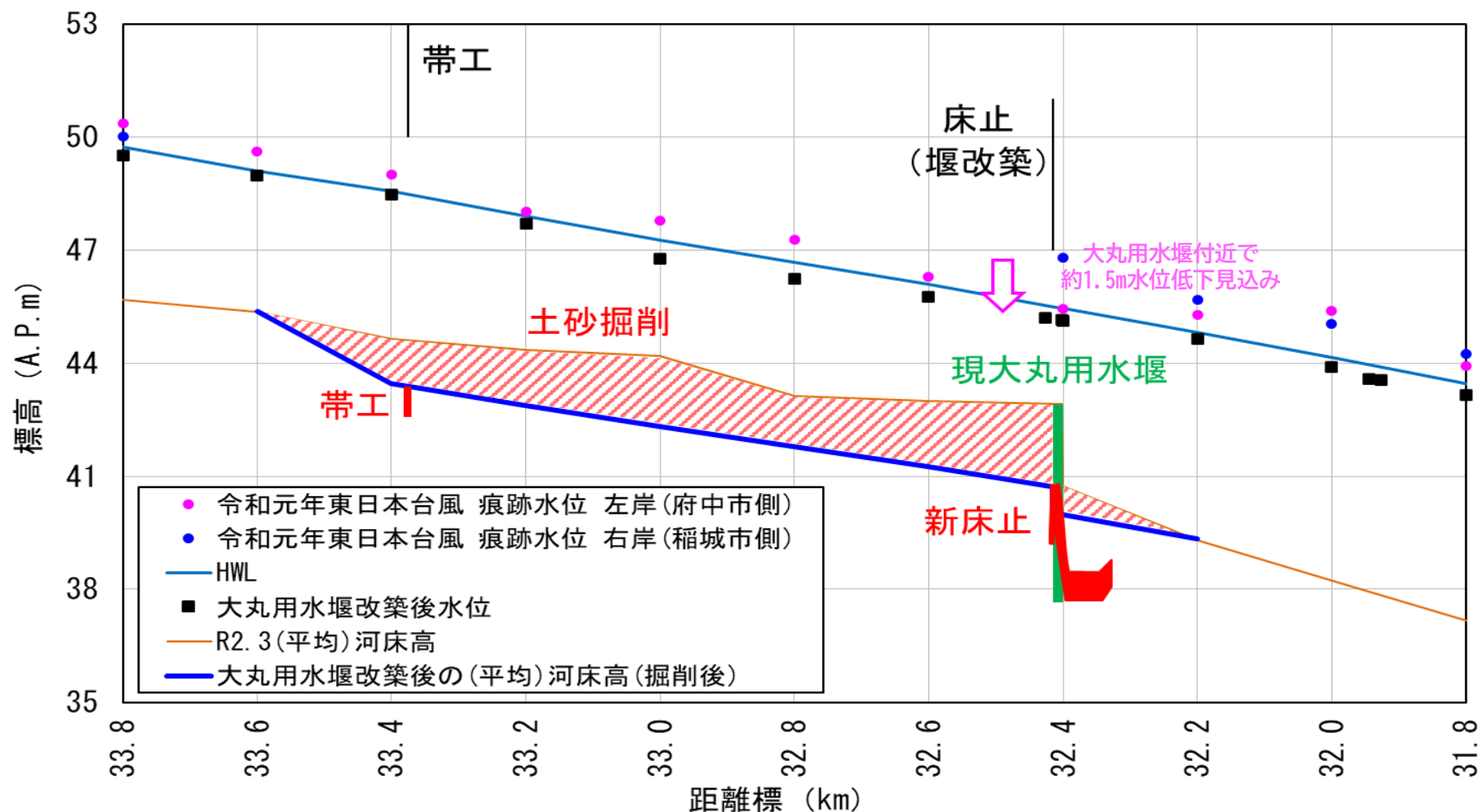
現在の大丸用水堰



大丸用水堰改築のイメージ

大丸用水堰改築、土砂掘削による水位低下効果

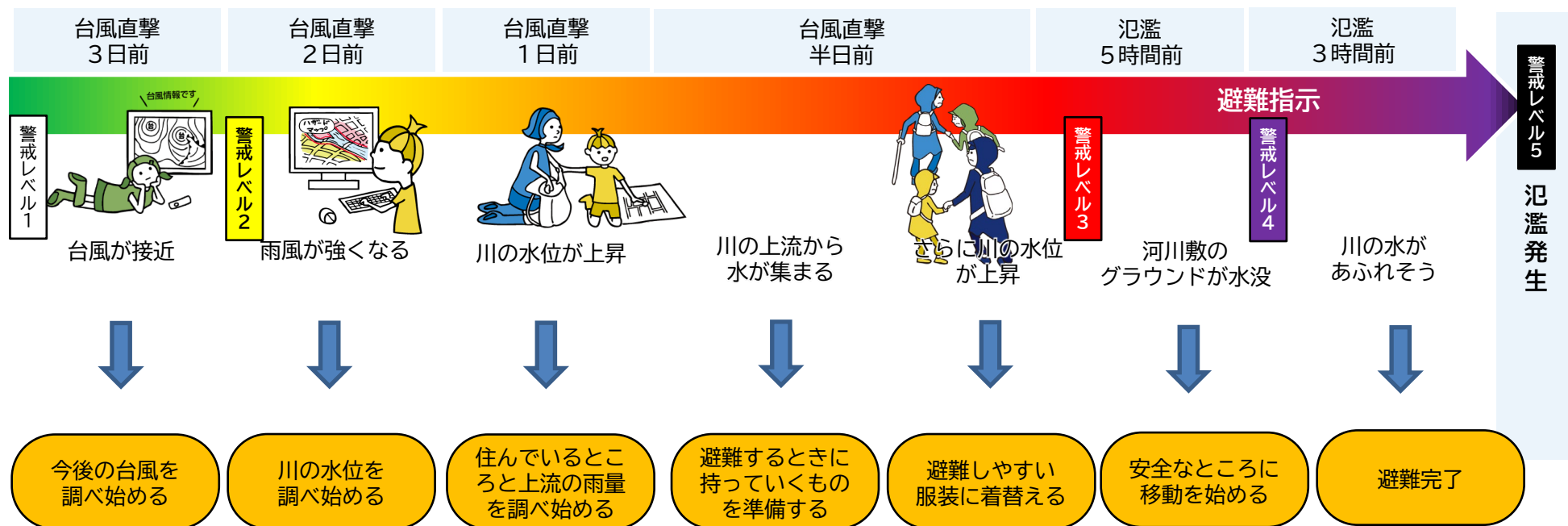
- 現在の大丸用水堰を撤去し、床止め、帯工を設置し、大丸用水堰上流に堆積した土砂の掘削を行います。
- 大丸用水堰の改築と土砂の掘削により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、堰付近で約1.5メートルの水位低下を見込んでいます。



マイ・タイムライン

マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されています。

洪水時避難のための7つの基本的な行動を、台風が直撃する3日前、2日前、1日前、半日前、氾濫5時間前、氾濫3時間前の時間に合わせて確認します。

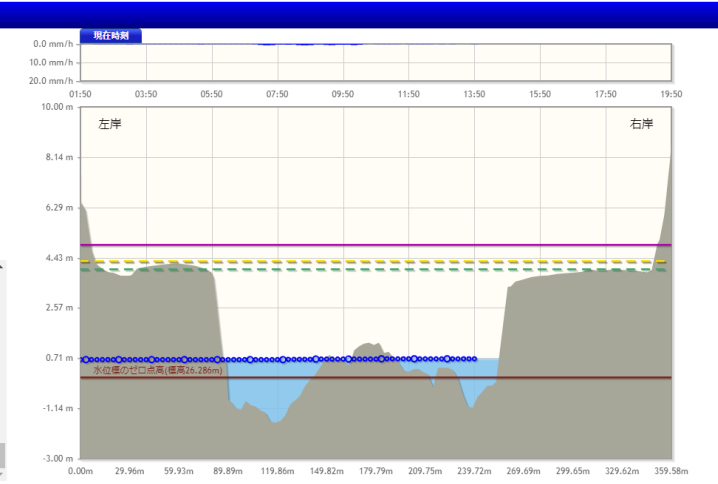


※なお、ここで示した警戒レベル等のタイミングはイメージであり、実際の洪水時とは異なることがあります。

水害リスクライン



水害リスクライン	
水位観測所名	石原
氾濫危険水位(m)	4.9
避難判断水位(m)	4.3
氾濫注意水位(m)	4.3
水防団待機水位(m)	4
セロ点高(標高m)	26.286
表示モード：●読み値表示 ○標高表示	
時刻	水位(m)
12:30	0.69→
12:40	0.69→
12:50	0.69→
13:00	0.69→
13:10	0.69→
13:20	0.69→
13:30	0.69→
13:40	0.69→
現況 13:50	0.69→



水害リスクライン

CCTVカメラ -大丸用水堰下流

現況カメラ

多摩川水系 多摩川 左岸 32.4k

東京都府中市是政 大丸用水堰下流

平常時

多摩川水系 多摩川 左岸 32.4k

平常時

